

ID: _____ 患者氏名: _____ 様

経過 日付	入院日(経皮的心筋焼灼術前日) 月 日 ()	入院2日目 月 日 ()	入院3日目 月 日 ()	経皮的心筋焼灼術当日(治療前) 月 日 ()	経皮的心筋焼灼術当日(治療後) 月 日 ()	5日目(治療後1病日) 月 日 ()	6日目(退院日) 月 日 ()
目標	治療の内容が理解でき、検査・治療を受けることができる。	治療の内容が理解でき、検査・治療を受けることができる。	治療の内容が理解でき、検査・治療を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	<ul style="list-style-type: none"> 医師より治療の説明を行います。 看護師が入院生活および治療の説明を行います。 (説明後、承諾書を記入し、提出して下さい) (医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。	医師・看護師の説明でわからないことがあれば何でもお話し下さい	医師・看護師の説明でわからないことがあれば何でもお話し下さい	<ul style="list-style-type: none"> 治療中ご家族の方は病棟でお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師から治療結果について説明があります。 治療した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 下肢の曲げる行動も控え、指示があるまで水平臥床での安静となります。 患者様が落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> 退院指導を行います。 医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。(治療直後に行うこともあります) 退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。 	
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重を測ります。 体温・脈拍・血圧を測ります。 足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。 		<ul style="list-style-type: none"> 治療前の処置を行います。(足の付け根の剃毛、入浴) 必要時点滴開始します。 体温、脈拍、血圧を測ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療の前に排尿し、検査着に着替えます。 尿道に管を入れます(女性) 治療前に点滴を行うことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴を継続します。 治療後、4回圧迫している空気を2mlずつ抜きます。 4回目の空気を抜いた2時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 点滴終了後、針は留置したままとします。 	<ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 治療翌日に採血と心電図レントゲンを行います。 症状がなければ留置針を抜去します。 	<ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行うこともあります。 生活に制限はありません。 						
生活 行動				<ul style="list-style-type: none"> ベッドで1階のカテーテル検査室へ行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後はベッド上で安静にして下さい。 治療後は、トイレまで歩くことができます。(足の付け根から行った場合は、6時間後になります) 手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 					<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態に異常がなければ入浴できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 治療食となります。(カロリー・塩分制限) 水分に制限はありません。 			<ul style="list-style-type: none"> 午前治療は朝食が出ません。 午後治療は昼食が出ません。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 		
内服薬	<ul style="list-style-type: none"> 今まで飲んでいた薬を変更することがあります。 						<ul style="list-style-type: none"> 退院時内服処方が必要に応じることがあります。
観察					<ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 治療の状況により、足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。 						
備考							

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。